



出水市立 高尾野小学校

児童数 478人
学級数 22クラス



《テーマ》

「一人ひとりを認め合い 支え合える 学校づくり」

研究に当たって（テーマ設定の理由）

不登校やいじめ問題など、その根本にあるであろう子ども同士の人間関係づくりを人権感覚や人権意識をもとに、言葉遣い・基本的生活習慣・自己肯定感の課題やそのことを教職員の課題として捉え、子どもへの向き合い方や人権感覚・環境づくり、連携の在り方などを通して学級づくりを基本に推進する。

研究スケジュール

6月20日（月）人権教室（1～3年）
「なかまづくり」「ちがいについて」
6月20日（月）職員研修
「自尊感情について」
8月31日（水）職員研修
「性的マイノリティについて」
12月2日（金）人権教室（4～6年）
「ちがいについて」

特色ある取組（他校にもおすすめの取組）

□ 校内研修，研究授業

人権の視点を意識した計画や活動を行った。学び合い・助け合い・認め合いを考える職員の学びをつくる研修を行った。
(人権ポスター・人権作文・人権標語)

□ 心の教育全体会

学年部会で、常に気になる子どもについて語り合い、全体で共有したいことを出し合い、学校の課題として捉え、今後の実践につなげる。(命を考える週間)

□ 気になる児童のケース会議

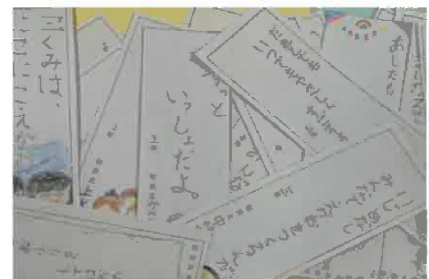
心の教育全体会で出された件について緊急性や重要性を考慮し、ケース会議を適宜開催し、外部機関等との連携を進めた。

□ 職員への各種お知らせ

職員連絡会や人権学習資料の配布を通して、人権同和教育の学びの機会をつくる。



【人権集会】



【人権標語】

子どもの人権プロジェクト推進校の取組の成果と課題（子どもの変容，よかったこと，今後やってみたいこと）

- お互いを見つめる想像力(適切な支援・ユニバーサルデザイン・インクルーシブ・マイノリティの感性)を磨くことができた。
- ちがいを豊かさへ変える言葉の選択(協力・共感・称賛・支え合い・リフレーミング)について学ぶことができた。
- 子どもの自尊感情を育めるような授業づくりができるよう職員の意識が高まった。
- お互いを知ることで、よい人間関係・環境づくりにつながることを再認識できた。